

輸出事業計画

※申請者名：さくら製菓株式会社、品目：米菓

1. 輸出における現状と課題

【現状】

当社は新潟県産もち米・うるち米を100%使用し、独自の製造技術で加工した米菓の輸出を実施している。平成23年から香港、令和2年にはニューヨーク・ハワイへの輸出を開始した。その他令和3年以降は台湾やタイにもスポット品として輸出している。輸出货量としては少ないが長期間にわたり輸出に取り組んでいる。

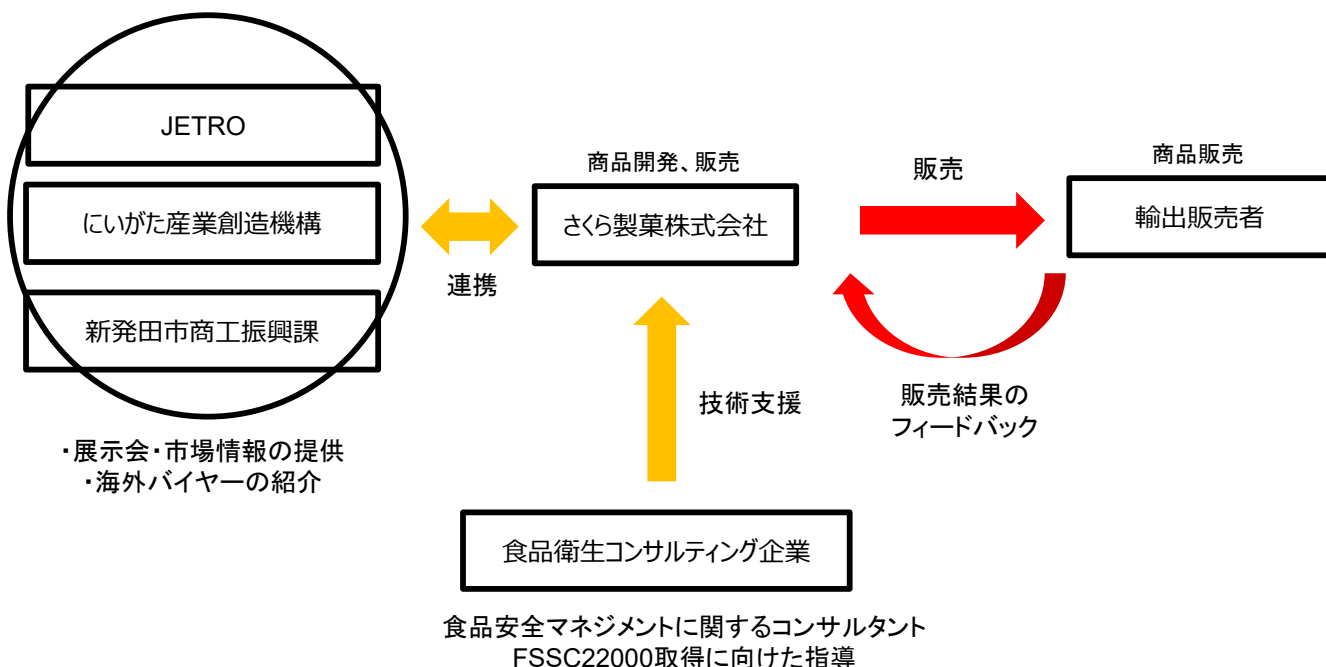
【課題】

- ・FSSC22000未取得により商品の取引要望はあるが米国、香港の輸出に対応できていない。
- ・また今後さらに輸出を拡大するためには、FSSC22000取得によるターゲット国の企業と共同企画したPB商品の開発が必要。
- ・輸出ターゲット国の規制や品質的要求に対応するため、FSSC22000に対応した設備の導入が必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出ターゲット国の規制や品質的要求に対応した設備・機械整備を実施し、FSSC22000を取得する。米国、香港への輸出に加え、その他ターゲット国への輸出も強化していく。
- ・（公財）にいがた産業創造機構やJETRO新潟と連携した海外バイヤー向けテストマーケティング等を通じて、ターゲット国が求めるデザイン性の高い商品開発企画の実施。
- ・並行して各種展示会への出展機会を増やし、高付加価値商品を求める海外バイヤーとの接点を作っていく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

米菓	現状（令和5年3月期）	目標年度（令和12年3月期）
輸出額（千円）	3,324	53,700
輸出货量（t）	1.09	17.61
輸出先国	米国・香港・台湾・フランス	米国・香港・台湾・フランス・シンガポール